

介護支援サポーターについて



伊藤よしのり議員 代表質問

元気な高齢者が介護保険施設などにおいてボランティア活動を行い、地域の人材が介護を支える仕組みとして介護支援サポーター事業があります。

介護保険事業に力を貸してくれていることをしっかりと評価し、また介護支援サポーターが、一層やる気を充実させてほしいという思いから、私は昨年の決算審査特別委員会の分科会において、**上限5,000ポイントを見直していただきたい**とお願いしました。

先の2月19日に行われた保健福祉委員会において、**区はポイントの上限を撤廃する**と報告がされており、私の提案を前向きに検討頂いたものと考えております。

す。

そこで伺わせて頂きたいと思いますが、介護支援サポーター事業について、**換金ポイントの上限を撤廃した機会をとらえ、さらに活動が活発になるようどのように支援していくのか**、お聞かせください。

(区長答弁)

介護支援サポーターのポイント換金制度において換金できる**上限額の撤廃は葛飾区が初めて**でございます。**介護支援サポーターと受入施設等双方のご意見をよく聞きながら、支援を強化**して参ります。

学校避難所について

伊藤よしのり議員 代表質問

従来、学校で行われている避難訓練は地震災害を想定していますが、今後は水害を想定した訓練も必要ではないでしょうか。本区の小中学校等の避難所について、避難所BOX・通信機材・備蓄倉庫・災害時有線電話・受水槽・簡易トイレ・AEDなどは、1階などに配置してありますが、今後については、2階・3階等に移設するような「訓練と設置」をするよう対策を講じていただけるか伺います。自治町会が共助に活用する資器材整備については、必要に応じての優先的な配置は出来ないのか、また自治町会等へのスタンドパイプの計画的な配置については理解をするが、もっと前倒ししての配置の考えはないのか、区の見解を伺います。

(危機管理・防災担当部長答弁)

今後、避難所の運営訓練において、水害を想定して資器材を2階以上に搬送する訓練の実施も盛り込めるよう避難所運営会議の中で十分に検討して参ります。

防災資器材に関する助成制度を有効に活用し、各自治町会の実情に応じた、資器材の支援について、検討を進めて参ります。